

報告します 委員会は今



総務文教常任委員会

町長に中山間8策を問う

総務文教常任委員会

中山間8策

町長の提唱する中山間8策は予算編成と合わせて具体化するため調整中である。中でも「健康いきいき大作戦」体力増強を進め、健康で農業に従事、スポーツを楽しむ、繋がりと交流を大切にする

町づくりに重点を置く。職員が仕事をしやすくするため現場主義を導入し職場をサポートしたい。

25年度予算編成方針

町長は法に基づき、25年度予算編成の概要を提示。新たに、係長以下の職員にチャレン

ジ枠を設け、自由な発想で企画立案させ、良いものは実行する。

地域医療の確保には

病院の医師数は法定数に達してない。引き続き広大、県、県病院に派遣依頼を行う。病院は研修機能を高め医師の育成指導にあたる方針。

過酷な医師の労働を軽減するには

時間外診療の適正化と、※1コンビニ受診などを抑制する。

医師の労働を正に評価し、努力に報いる地域づくりが必要。今後、フォーラムの開催も検討する。

科の新設は、消化器外科、呼吸器内科を検討中。

近辺にない産婦人科は、三次中央病院と連携し産科援助システムを駆使して妊婦をサポートしている。利用者は10月末で15人と報告

された。

甲山デイスサービス内にあるリハビリプールは浴槽改修のため、中断されるが、ひざ関節痛などに効果があり、引き続き運用を望むと強い要望があった。

いじめ不登校問題行動

いじめの認知件数は、小学校は0、中学校4であった。全国の平均は1000

人あたり5.0人
広島県は1.7人

不登校児の動向問題行動

不登校

小学校2人
中学校11人 計13人
問題行動は
小学校0件
中学校5件であった
(調査は11月末現在)
次回はアンケートの内容も調査する。

農業後継者の育成は

産業建設常任委員会

野積み堆肥の状況は

町内9か所に2万トン近い堆肥があり撤去が進んでいない。町としては所有者が撤去するのが前提であり、排出者の責任を求めるため県と協議を行なう。

水質は問題ないとは言え、早期解決へ向けて町の努力を求める。業

農業後継者の育成は

者と市との裁判が進めば、排出者責任が進むと思われる。

今年度、農業後継者確保事業では、新しく6名が活用中であり、国の制度による青年就農給付金受給者は現在※2 2.5人である。利用を増やすため要綱要領に

※1 コンビニ受診=ごく軽い症状で緊急性もないのに、夜間や休日に病院の救急外来をコンビニのように気軽に利用すること。

※2 2.5人=夫婦が対象の場合は1.5人とカウントする。

基づいて周知を図る。今後、耕作用地を確保するため、耕作放棄地再生事業を活用し、農地の整備を進める。産業創造大学の参加者は6名で、国の就農給付金事業の活用を図り、より多くの農業後継者の育成に努める。

指定管理の状況

管理の行き届いてない「せらにし青少年旅行村」は、指定管理期間が2年間残っている



下水道工事現地調査

が、年度末を目途に新たな管理方法を含め検討する。

八田原グリーンパークは、指定管理部分の縮小も含め、今後のあり方を検討する。

国・県・町道の改良

国道432号賀茂バイパスと重永本線の計画は、バイパスの詳細設計が行われており、近く地元説明する。重永本線は本年度中に法線を決定する。

さらなる議会改革に挑戦

議会改革調査特別委員会



議会改革調査特別委員会

議員個々で質問内容が同じとは限らないので調整は難しい。可能なものは議長、副議長で調整する。

○パソコンなどのIT機器の持込みは、情報源として有用であるが、必要以外の機能もあり、持ち込みは禁止した。

○質問の主旨を明確に要約して効率的に行う。
○議員の品格に恥じないよう行動する。
○議会報告会・意見交換会の義務付け
○一般質問における同一事項の取り扱いは、

○議員への答弁書の前公開は、執行者と議員とのやり取りに緊張感がなくなり、議論が形骸化する恐れがあり事前公開はしない。

議会だより新メンバーでスタート

広報広聴調査特別委員会

議会だより発行研修会

11月29日、新メンバーで中国新聞読者広報部の亀川和典氏を講師に迎え、読みたくなる見出しの付け方、内容の伝え方、記事の書き

方、写真の有効的な使い方、編集・校正など必要な技術研修を行った。メンバー一同「議会だよりせら」が今まで以上に親しまれる紙面になるよう決意を新たにしました。



読みたくなる見出しの付け方など研修